




# 北海道


## 5 団体

### 市立札幌開成中等教育学校

#### PlaCler

##### 海洋プラスチックの再利用

回収後の海洋プラスチックは埋め立てや焼却で処分されていますが、陸の環境の負担になっているのではと考えました。高校生がこの問題解決の研究をするには課題も多く、試行錯誤の連続ですが、海洋プラスチックの変性・混合やフィルム化を進めています。




### 北海道大野農業高等学校

#### ボランティア部・果樹専攻班

##### 北斗市の里地里山の自然を守るために

北斗市には豊かな里地里山の自然が残されています。私たちは、自然について学ぶため、北海道フラワーゾーンに参加したり、農場の自然環境調査や大野川の水質調査を行っています。また、清掃活動や樹名板の作成、植樹祭への参加などにも取り組んでいます。




### 北海道士幌高等学校

#### 環境班

##### 持続可能な地域環境を目指して ～次の100年へ、地域を守る防風林造成を～

士幌町がある十勝地域は、十勝風と呼ばれる突風の風害から農地を守る防風林の更新が課題。この課題を解決するために、農家への意識調査活動や樹種の違いによる防風林調査活動、地域資源創出活動を実施しています。次の100年を次世代へ引き継ぐためにも。




### 北海道羽幌高等学校

#### SBFプロジェクトチーム

##### 羽幌町に飛来する海鳥と今後の課題

私たちプロジェクトチームは羽幌町の海鳥の保護について探求しています。環境省の方々と絶滅危惧種である海鳥の数をどう守り増やせるかを協議し、イベントでの啓発活動に積極的に参加し、多様な生物が共存できる社会に貢献できるように頑張りたいです。




### 北海道美幌高等学校

#### 環境改善班

##### オホーツクの自然を守れ! ～世界へ広がる環境改善～

今年度から国内6カ所と国外2カ所での市民参加型マイクロプラスチック調査活動を開始し、美幌と大阪での活動を行いました。また、ウチダザリガニ駆除からザリガニ入り肥料を野菜栽培に利用し、ニホンザリガニなどの在来種保護も並行して行っています。




# 東北

## 29 団体


東北地区は、  
 「全国ユース環境活動発表大会応募高校」、  
 「東北地区 高校生SDGs セミナー参加高校」、  
 「環境甲子園応募高校」の環境活動を紹介しています。  
 (協力：NPO法人環境会議所東北)

### 青森県立名久井農業高等学校

#### 環境システム科 草花班

##### 耐用年数を過ぎた太陽光パネル由来の廃棄ガラスの有効利用に関する研究

耐用年数(約30年)を過ぎた太陽光パネル由来の廃棄ガラス「スーパーソル」の有効活用に取り組みました。「スーパーソル」は、多孔質であることや軽量で耐久性があるなど、農業や環境分野へ嬉しい性質が盛り沢山です。農業や環境への貢献を目指しています。




### 青森県立名久井農業高等学校

#### 環境研究班

##### 美ら海を守れ ～沖縄の赤土流出抑制に挑戦～

沖縄の美ら海が、島尻マージや国頭マージという脆い赤土が降雨で流出し赤く染まっています。私たちは三和土という日本伝統工法で途上国の土壌流出抑制技術を開発。この技術で沖縄の皆さんと試行錯誤を繰り返し、赤土の流出対策に取り組んでいます。



### 青森県立名久井農業高等学校

#### ハウレンソウ研究

##### ハウレンソウの省エネ露天風呂栽培

温度を高め生育を促進する水耕栽培と寒気で糖度を高める寒じめ栽培という矛盾する技術を組合せ水耕栽培でありながら省エネで高機能性ハウレンソウを栽培できる「露天風呂栽培法」を考案した。今後、研究を重ね省エネ時代の新技術として確立していきたい。



### 青森県立名久井農業高等学校

#### 環境研究班

##### キャピラリーバリアを利用した節水型塩類集積抑制システムの開発

毛管現象を土壌内に設けた礫層で遮断するキャピラリーバリアという土木工法に着目した。土壌水分を利用して塩類集積の発生を抑制する今までにない節水型システムは、乾燥地や半乾燥地における食糧増産に伴う水不足の解決に大いに貢献できるものである。

